

平成23年3月22日

香川大学ビジネススクール:公開ワークショップ

「瀬戸内海地域における地域資源(文化・創造活動)を活用した 都市間連携と地域活性化」を考えるためのワークショップ【第1回】

日時 2011年3月25日(金) 17:00~19:30(開場16:30) **会費** 無料

場所 香川大学大学院地域マネジメント研究科特別講義室
高松市幸町2-1 南側のキャンパスの正門を入ってすぐ左の建物(構内地図参照)

アクセス JR昭和町駅から徒歩10分(一般用駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください)

主催 香川大学大学院地域マネジメント研究科 **HP** www.gsm.kagawa-u.ac.jp

参加方法 当日、直接会場にお越しください。

連絡先 下記連絡先にEメールまたは電話でお問い合わせください。

プログラム

- 開会挨拶(17:00~17:05): 関 義雄(香川大学大学院地域マネジメント研究科長)
- 基調報告(17:05~17:30): 亀山嘉大(香川大学大学院地域マネジメント研究科准教授)
- 事例報告(17:30~18:10) / パネルディスカッション(18:15~19:30)
報告/パネリスト(50音順): 岩橋培樹(琉球大学法文学部准教授)
笠原良二(ベネッセホールディングス直島事業室渉外・地域活動担当部長)
工藤一成(北九州市立美術館副館長)
築城則子(遊生染織工房主宰)
- コーディネーター: 亀山嘉大(香川大学大学院地域マネジメント研究科准教授)

内容

グローバル化とポスト工業化の進展は、社会・文化・経済の諸活動を大都市に集積させる一方で、地方の都市・農村で経済を縮小させています。この状況の中、地方の都市・農村で人々が心豊かに暮らしていくために、大都市と共存できる新しい独自の社会経済のあり方を検討していく必要があります。本研究では、瀬戸内海地域の都市間連携という構想のもと、個々の都市の取り組みを紹介し、情報の共有を図るとともに、文化・創造活動を軸とした諸事業のアウトリーチ活動の「場」を構築していくためにワークショップを開催いたします。

第1回目は、香川県の「瀬戸内国際芸術祭」や北九州市の「まちじゅうアート」の取り組みやネットワークの広がり、工芸における革新的な事例としての小倉織の復活とビジネス展開の実際、文化的基盤としての美術館や文化的娯楽としての囲碁の役割、これらの事例報告を行うとともに、「瀬戸内海地域における地域資源(文化・創造活動)を活用した都市間連携と地域活性化」の可能性を議論していきます。



▶ ご連絡先

香川大学大学院地域マネジメント研究科

Eメール gsm-office@gsm.kagawa-u.ac.jp 南谷

電話 087-832-1900 南谷 受付時間 9時~16時

【香川大学幸町キャンパス構内図】



幸町南キャンパス

特別講義室
(1階)

幸町北キャンパス